

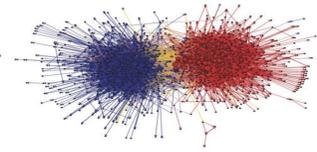
マンダラートでフィルタリングバブルを制御しよう

05C市川悠斗

成果物

ネガティブな印象を持たれる フィルタリングバブル であるがその状態を理解して利用することで 思索を深めていくための仕組みづくり を提案しました。

フィルタリングバブルとはインターネットの検索サイトが提供するアルゴリズムによって各ユーザーが見たくないような情報を遮断する機能のせいで自分が見たい情報しか見えなくなる。その代表例が下記の支持政党による検索情報の分断である。



フィルタリングバブルは選挙においては有害になりうる。しかし私たちの普段の検索情報においてはそれほど有害なのか。そこで検索情報における フィルタリングバブル度 を見よう

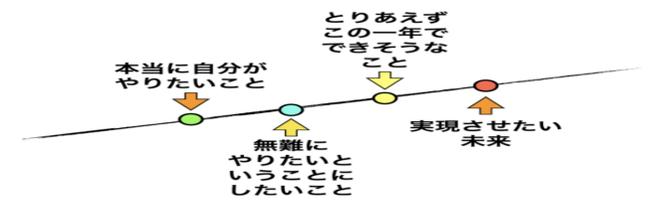


私たちは日々検索をする。その検索内容は重要なものである。しかしそれを見返して理解するのは不可能に近い。

そこで2つに分けることで解決する

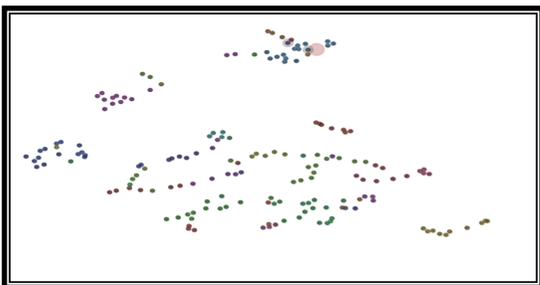
- ①検索カテゴリ
- ②検索回数

ほんの少しの時間でもいいのでこの下図を見て思索してください。そしてその結果目指す何かが決まったらもうこちらのものです。

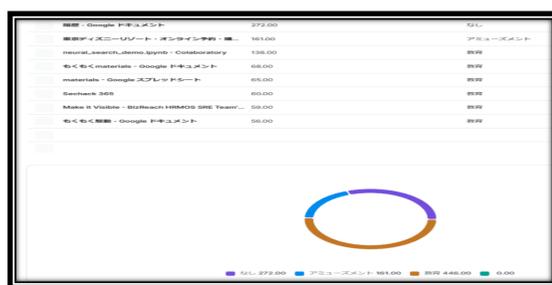


ここで登場するのがマンダラートです。目標に向かっていけばフィルタリングバブルと判定されるかもしれません。ですがそこに迷いはいらないのです。どんどん知識を深めていきましょう。

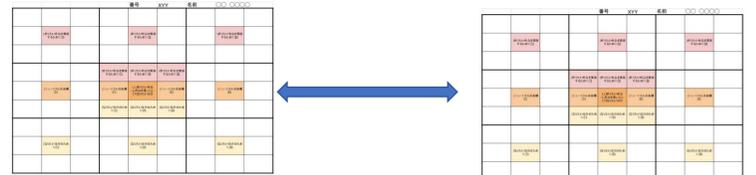
検索のバラツキがわかる



検索結果の表示



マンダラートへの連携



Q. バラツキはあった方がいいのか?

A. 一概には言えない。自分の興味がどれだけあるのかによる。

*これを眺めるだけでは得られるものはちょっとした気づきだけです。より上手く興味対象を深めていくには他の機能も使う必要があります。

Q. この下側の円チャートは何のためにあるのですか?

A. 自分の検索履歴はどのようなカテゴリが多いのかを知るためです。左のバラツキと違う点はカテゴリを個々で見ると集合でみるかという点です。

Q. この機能は何のためにあるのですか?

A. これは左側の円チャートをより見やすくするためのものです。また以前のデータを参照し自分の検索履歴のカテゴリが同じ箇所は色が変わっていきます。そうすることによってわざわざ自分で自分の興味関心がどのように移り変わったのか履歴を遡って目視する必要がなくなります。

Q. マンダラートとは何ですか?

A. 目標達成ツールの一種です。詳しくは今後のブログにて説明します

手法



検索データ



検索データを連携し glide に送信する。検索結果をよりわかりやすく表示することができる。



検索データのバラツキ度合いを計算し表示する。



検索数が一定数に到達すると表示する。

ここでまずできるのは初めに自分のフィルタリングバブル度を確認してもらうこと。次に今見ている内容は一過性なのかどうかを時系列で評価すること。最後にその内容をマンダラートに表示することによって瞬時に振り返りができる。

*フィルタリングバブル度についての詳細はブログ内においてします。

Q. 必要なものは何ですか?

A. 自分の検索履歴と glide にログインする際に必要なアカウントです。

*自分の履歴を消したり、パーソナライゼーション機能などを消すことを推奨する話はありません。重要なのは自分の興味対象について思索を続けることなのでオススメできません。

提案



検索履歴から生成された公開中のマンダラート



君の出来上がったマンダラートを見るにまだまだ知識を蓄える必要があると思うんだ。アウトプットにおけるほどよい情報量は決りが必要なんだよ。だからこれからもいろんな資料を載せていきますね。

マンダラートは公開・非公開を選択することができる。公開することによって得られるのは自分が選択に悩んでいた時にその分野に詳しい人が提案することができる。

Q. これは知恵袋みたいなものですか?

A. 大体同じですが違う点は生成されたマンダラートを公開するだけなので自分からこれがわからないと投稿する必要がありません。

*問題があるとするならばアドバイスをくれる側と欲しい側で知識に差が一回では言っていることが理解できなという可能性です。

今後のお話

- ・このツールを使った人がその後どのように検索を行うようになったのかを調べたい
- ・どのような人がこのツールを使うことで恩恵を得られるのか調べたい
- ・手動操作の部分をなくしていきたい
- ・などを左記のブログに更新していく予定です。

